Shiga Museum of Art
PRESS RELEASE　2021.11.19
（県政・東近江市同時）

Shiga Museum of Art
滋賀県立美術館

提供年月日：令和3年（2021年）11月19日
所　属　名：文化芸術振興課
　　滋賀県立美術館
担当者名：福山（広報担当）、木村
連　絡　先：077-543-2111（美術館内）
E-mail：museum@pref.shiga.lg.jp

滋賀県立美術館

野口謙蔵生誕 120 年展

野口謙蔵《霜の朝》 1934 年 東京国立近代美術館

［見どころ］＊画壇から評価されながらも、病に倒れ 43 歳の若さで亡くなるまで、終生近江の風景を愛し、描き続けた野口謙蔵の生誕 120 年の年に代表作を一挙公開

＊謙蔵の代表作《霜の朝》（1934、東京国立近代美術館、第 15 回帝展特選）、《水村雪後》（1938、京都国立近代美術館、第 6 回東光会展出品作）が県内で展示されるのは 20 年ぶり

＊館蔵品からも展覧会入選の大型作品《梅干》（1929）、《五月の風景》（1934）といった力作が一堂に

＊絶筆のクレヨン画《喜雨来（きうらい）》（1944）や直筆の日記（いずれも東近江市近江商人博物館）など、貴重な資料類を紹介

＊毎週日曜日は「木の家専門店 谷口工務店 フリーサンデー」のため、観覧無料

滋賀県蒲生郡桜川村綺田(現・東近江市)に生まれた野口謙蔵(1901-1944)は、東京美術学校(現・東京藝術大学)西洋画科を卒業すると郷里に戻り、終生近江の風景を描き続けました。当時の風潮として、多くの画家が欧米を目指し制作に取り組むなかで、謙蔵の姿勢は特筆すべきものと言えるでしょう。

時に謙蔵は、自身の作品に「近江野謙(おうみのけん)」とサインを入れました。このことは、謙蔵が近江の風土を誇りに思い、愛していたことをうかがわせます。

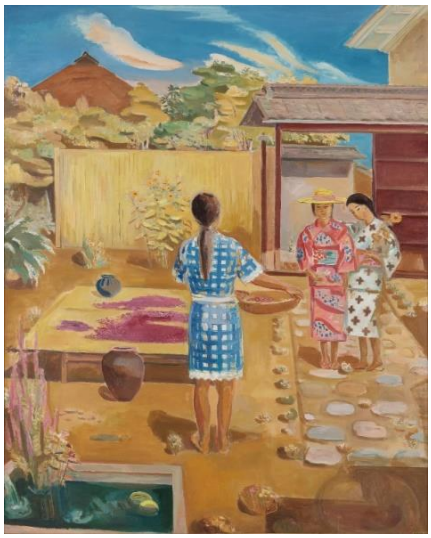
謙蔵は帝展で3度特選に輝き、1943 年には新文展の審査員を務めるなど将来を嘱望されながらも、病に倒れ 43 歳という若さでこの世を去りました。南画家の野口小蘋(のぐちしょうひん)(1847-1917)を伯母に持ち、地域の歌壇とも密接な関係を築いた画家は、日本画や短歌にも制作の源泉を探り、限られた生涯のなかで瑞々しくも力強い筆致の作品を残しました。

2021 年は、謙蔵生誕 120 年を迎える節目の年です。郷土を代表する画家として、これまでも謙蔵の作品群を紹介してきた当館では、29 件の絵画作品(うち 3 件は寄託)、4 件の関連資料(書簡等)を収蔵しています。本展では、当館の収蔵品を中心に謙蔵の代表作を紹介し、地域に残された資料類を展示しながら、滋賀と謙蔵の関わりにスポットを当てます。

⑥画室の野口謙蔵

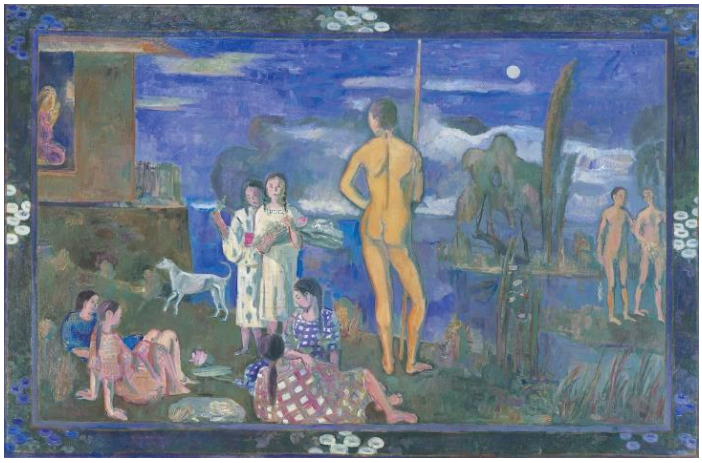
■主な出品作品

①野口謙蔵《霜の朝》1934 年
東京国立近代美術館
(第 15 回帝展出品作、特選)



②野口謙蔵《梅干》1929 年
滋賀県立美術館
(第 10 回帝展出品作)

③野口謙蔵《村の子供》
1932 年頃
滋賀県立美術館



④野口謙蔵《五月の風景》1934 年
滋賀県立美術館
（第 3 回東光会展出品作）

⑤野口謙蔵《水村雪後》1938 年
京都国立近代美術館
（第 6 回東光会展出品作）

他、謙蔵のスケッチ類や日記（東近江市近江商人博物館）、書簡など、あわせて約 40 件を展示

■展覧会概要

展覧会名：「野口謙蔵生誕 120 年展」
会　　期：2021 年 12 月7日（火）～2022 年2月 20 日（日）
休 館 日：毎週月曜日（祝日の場合は開館し、翌平日が休館。1月 10 日（月）は開館し、1月 11 日（火）は休館。）、年末年始（2021 年 12 月 23 日（木）～2022 年1月7日（金））
開館時間：9:30～17:00（入館は 16:30 まで）
会　　場：滋賀県立美術館　展示室2
観 覧 料：一般　540 円（430 円）　／　高校・大学生　320 円（260 円）
※（　）内は 20 名以上の団体料金
※「野口謙蔵生誕 120 年展」「昔の滋賀のくらし」の両展覧会を観覧可
※中学生以下、県内居住の 65 歳以上、身体障害者手帳等をお持ちの方は無料
※毎週日曜日は「木の家専門店　谷口工務店　フリーサンデー」のため無料

主　　催:滋賀県立美術館
協　　力:東近江市観光協会
企 画 者:山口 真有香(滋賀県立美術館 主任学芸員)

■関連イベント
・いずれも事前申込が必要です。

◆講演会「野口謙蔵の蒲生野」
日 時:2022 年1月 23 日(日)14:00～15:30
講 師:田中 浩 氏(旧蒲生町文化財担当)、山口 真有香(当館主任学芸員、本展企画担当者)
定 員:70 名
場 所:滋賀県立美術館 木のホール

◆展覧会担当者によるギャラリートーク
開催日:2021 年 12 月 18 日(土)、2022 年 2 月 19 日(土)

◆バスツアー「野口謙蔵生誕 120 年展鑑賞とふるさと蒲生野を訪ねる!!」
開催日:2021 年 12 月 19 日(日)、2022 年2月 13 日(日)
主　催:東近江市観光協会
協　力:滋賀県立美術館
問合せ:東近江市観光協会(0748-29-3920)
展覧会の観覧と東近江市内のゆかりの地の巡回がセットになったバスツアーです。

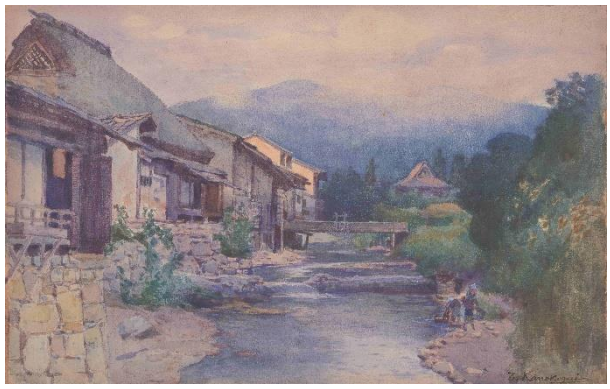
※それぞれのイベントは都合により、内容・日時等が変更になる場合があります。
イベントの詳細や最新情報は当館 HP 等で御確認ください。

同時開催

滋賀県立美術館

昔の滋賀のくらし

⑦沢宏靭《牟始風呂》1933 年 滋賀県立美術館



⑧鹿子木孟郎《水郷》明治 40 年代頃 滋賀県立美術館

［見どころ］＊今では珍しくなった滋賀の暮らしについて、絵画作品をもとに紹介
＊毎週日曜日は「木の家専門店 谷口工務店 フリーサンデー」のため、観覧無料

郷土ゆかりの作家が手がけた風俗画や風景画の中には、当時の人々の生活文化が描かれていることがあります。例えば沢宏靭(さわこうじん)《牟始風呂(おしぶろ)》には、滋賀県に伝わっていた一種のサウナ風呂や様々な風習が正確に描き込まれています。本展では明治、大正、昭和期に制作された絵画作品をもとに、今では珍しくなった滋賀の暮らしを紹介します。

■展覧会概要

展覧会名:「昔の滋賀のくらし」
会　　期:2021 年 12 月7日(火)～2022 年2月 20 日(日)
休 館 日:毎週月曜日(祝日の場合は開館し、翌平日が休館。1月 10 日(月)は開館し、1月 11 日(火)は休館。)、年末年始(2021 年 12 月 23 日(木)～2022 年1月7日(金))
開館時間:9:30～17:00(入館は 16:30 まで)
会　　場:滋賀県立美術館　展示室1
観 覧 料:一般 540 円(430 円) ／ 高校・大学生 320 円(260 円)
※( )内は 20 名以上の団体料金
※「昔の滋賀のくらし」「野口謙蔵生誕 120 年展」の両展覧会を観覧可

※中学生以下、県内居住の 65 歳以上、身体障害者手帳等をお持ちの方は無料
※毎週日曜日は「木の家専門店 谷口工務店 フリーサンデー」のため無料

主　　催:滋賀県立美術館
企 画 者:平田 健生(滋賀県立美術館 専門学芸員)

■注意事項
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、関連のガイドラインも踏まえ、必要な対策を講じてまいります。それに伴い、急な御案内の変更などが生じてくる可能性があります。詳細は、当館ホームページ(https://www.shigamuseum.jp/)を御確認ください。

****

■プレス説明会(「野口謙蔵生誕 120 年展」「昔の滋賀のくらし」展共通)

(1)開催日時
令和3年(2021年)12月7日(火) 9:00～受付開始

(2)会場
滋賀県立美術館(大津市瀬田南大萱町 1740－1)

(3)タイムスケジュール
9:00～　　プレス受付開始
9:10～ 9:40　内覧会(野口展は担当学芸員による解説あり)
9:45～10:15　説明会(木のホール)
・保坂ディレクターによるご挨拶
・展覧会内容紹介(担当学芸員)
・質疑応答
10:15～　　自由取材

(4)参加申込み
参加を希望される方は、P7の返信表に必要事項を御記入の上、12月6日(月)正午までに、メールまたはファックスにてお知らせくださいますようお願いいたします。
お車でお越しの場合は、びわこ文化公園の駐車場(無料)を御利用ください。大型撮影機材等の持込みのために、美術館敷地内への駐車を希望される場合は、その旨を通信欄に必ず御記入いただきますようお願いいたします。

(5)注意事項
新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、プレス説明会の内容変更や開催中止となる場合があります。中止の場合は、参加申込みの際にいただいた御連絡先にお知らせいたします。

Shiga Museum of Art
滋賀県立美術館

プレス説明会参加返信表

申込期限:12/6(月)正午

滋賀県立美術館行き

Fax　:077-543-2170
Email:museum@pref.shiga.lg.jp

＜必要事項＞

1)貴社名　：

2)御所属名:

3)御芳名　：

※参加される方すべての御芳名を記入してください。

4)参加人数:

5)御住所　：

6)ＴＥＬ　：

7)E-mail　：

8)通信欄　：

Shiga Museum of Art
滋賀県立美術館

広報用画像申込書

滋賀県立美術館　教育・コミュニケーション室行き
Fax:077-543-2170　　E-mail:info@shigamuseum.jp

展覧会広報用素材として、作品画像等を用意しております。御希望の方は使用条件をお読みいただき、必要事項を御記入のうえ、FAXまたはメールにてお申し込みください。

****

媒　体　名：
種　　別：テレビ　ラジオ　新聞　雑誌　フリーペーパー　ネット媒体　その他
発売・放送予定日：
御　社　名：
御担当者名：
E-mail：
御　住　所：
T　E　L：
F　A　X：
招待券希望枚数：　　枚

御希望の画像に✔をつけてください。

□	①野口謙蔵《霜の朝》1934 年 東京国立近代美術館
□	②野口謙蔵《梅干》1929 年 滋賀県立美術館
□	③野口謙蔵《村の子供》1932 年頃 滋賀県立美術館
□	④野口謙蔵《五月の風景》1934 年 滋賀県立美術館
□	⑤野口謙蔵《水村雪後》1938 年 京都国立近代美術館
□	⑥画室の野口謙蔵
□	⑦沢宏靭《牟始風呂》1933 年 滋賀県立美術館
□	⑧鹿子木孟郎《水郷》明治 40 年代頃 滋賀県立美術館

****

[使用条件]
※広報用画像の掲載には、各画像のキャプションとクレジットの明記が必要です。
※当館からの指定がない限り、トリミングは御遠慮ください。作品が切れたりキャプション等の文字が画像にかぶったりしないよう、レイアウトに御配慮ください。
※情報確認のため、お手数ですが校正原稿を当館へお送りください。原稿確認を行わず誤った情報が掲載された場合、当館では責任を負いかねます。
※アーカイブのため、後日、掲載誌(紙)、URL、番組収録の DVD、CD などをお送りください。
※画像は本展の広報のみの御利用となります。御利用後は必ずデータを破棄していただくようお願いいたします。
※読者プレゼント用の招待券の提供を御希望の場合は、本申込書の記載欄に御記入ください。